



2023年4月10日

各 位

会社名 松竹株式会社
代表者名 代表取締役社長 迫本 淳一
(コード番号 9601 東証プライム、札証、福証)
問合せ先 取締役 尾崎 啓成
(TEL 03-5550-1699)

通期業績予想（連結・個別）の修正及び減損損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年1月13日に公表した通期業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、当社は連結決算において、下記の通り減損損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2023年2月期通期連結業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	79,540	△1,700	350	4,850	353.07
今回修正予想 (B)	78,210	△770	1,350	5,480	398.94
増減額 (B-A)	△1,330	930	1,000	630	
増減率 (%)	△1.7	—	285.7	13.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	71,835	△4,005	△2,801	△1,762	△128.33

(2) 2023年2月期通期個別業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,400	1,660	5,750	416.21
今回修正予想 (B)	44,720	2,770	6,820	493.67
増減額 (B-A)	△680	1,110	1,070	
増減率 (%)	△1.5	66.9	18.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	44,698	△1,092	△1,452	△105.14

修正の理由

映像関連事業におきまして当社配給作品の一部及び映画館事業の興行収入が当初想定していた水準に及ばなかったことにより売上高は減少しているものの、利益率の高い放映権販売が好調であったこと及び演劇事業が当初の想定に比べ回復基調であったこと並びに全社的なコスト削減等を通じて、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表した業績予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り連結及び個別の業績予想を修正いたします。

2. 減損損失の計上について

当社連結子会社が保有する映像関連事業の劇場設備につきまして、当初想定していた収益に比べ低下していることから、直近の業績の動向を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2023年2月期連結決算において、当社連結子会社が保有する固定資産の一部の帳簿価額を回収可能額まで減額し、852百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

以 上